



2020年2月13日

各 位

東京都中野区本町一丁目32番2号
会社名 アクセルマーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 尾下 順治
(コード番号：3624 東証マザーズ)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年9月期第1四半期連結会計期間において特別損失を計上するとともに、最近の業績動向等を踏まえ、2019年11月14日に発表した2020年9月期通期連結累計期間業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 特別損失の計上

2019年5月にサービス提供を開始したパズルゲーム「COLOR PIECEOUT(カラーピースアウト)」はサービスを拡充し、ユーザーの継続率等は順調な推移を見せているものの、スマートフォン向けゲーム市場の競争が激化し、プロモーションによるユーザー獲得が想定を大きく下回っていることや、2019年9月より英語圏を中心とした世界105か国へ展開を行ったものの、当初計画よりも低調に推移していることなどを踏まえて、日本国内でユーザーのみなさまにより楽しんでいただけるゲームを目指した開発に注力する方針といたしました。

このため、多くのユーザー獲得を目的とした積極的なプロモーション展開が当初計画よりも大きく遅れるため、その収益についても当初計画から大きく遅れる見込みとなり、規定の期間内でソフトウェアとして計上していた開発費を上回る収益回収が困難である蓋然性が高まったことから、資産として計上していたソフトウェアを減損することとし、その損失129百万円を特別損失として計上いたしました。

当社では2019年9月期第2四半期連結会計期間から事業構造の転換に着手してまいりましたが、今回の特別損失の計上により、これまで開発・運営を行ったゲームについてはすべて資産の償却・減損が完了いたしました。

なお、「COLOR PIECEOUT(カラーピースアウト)」についてはコンテンツ拡充やイベント追加などのサービス開発に注力していき、ユーザーのみなさまのさらなる満足度の向上を図るとともに、それに伴った収益向上を図れた段階で、より一層のユーザー獲得にも改めて取り組んでいく方針で運営を行ってまいります。

また、当社が保有する投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落しているものについて評価した結果、投資有価証券評価損15百万円、貸倒引当金繰入額50百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

2020年9月期通期連結累計期間業績予想数値の修正（2019年10月1日～2020年9月30日）

	売上高	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,200～4,000	百万円 △600～△300
今回修正予想 (B)	3,000	△940
増減額 (B-A)	△200～△1,000	△340～△640
増減率 (%)	△6.3～△25.0	-
(ご参考) 前年同期実績 (2019年9月期)	2,895	△1,200

3. 修正の理由

2020年9月期の業績予想については、事業構造の転換を進めていくことに加え、マーケット環境や暗号資産の価値変動やその市場の動向が激しく変化していることからレンジ形式による通期業績予想の開示を採用しております。

こうしたなかで2019年12月よりブロックチェーンゲーム第1弾「コントラクトサーヴァント-CARD GAME-」のプレセールを実施し、2020年1月からサービスを正式に開始し順調に事業が進捗しており、本日開示した「仮想通貨及びブロックチェーン技術を活用したオンラインエンターテインメント事業への参入について（開示事項の経過）」にも記載のとおり、ブロックチェーンゲーム市場の成長可能性や今後の事業展開などの展望が開けてきている一方で、前記の「COLOR PIECEOUT(カラーピースアウト)」の運営方針の変更に伴う当期における収益見込みの大幅な減少や、and Experience 事業においてブロックチェーンゲーム情報メディア「Blockchain Game Info」へのリソースを集中させることによる収益見込みの減少などに加えて、これまでの事業進捗や市場動向などを踏まえて、レンジ形式による通期業績予想から変更して通期業績予想を修正しております。

また、特別損失を計上したことにより親会社株主に帰属する当期純利益は従来の通期業績予想における下限予想を下回る見込みとなりました。

以上